

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 419

| | | | | | |
|--------|---------|------|-----------------------------|-------------|-------------|
| 政策体系 | 21 | 事業分類 | ハード事業 | 所管部局 | 農林商工部 農林整備課 |
| 会計 | 一般会計 | 科目 | 6. 農林水 - 1. 農業費 - 5. 農地費 現年 | | |
| 事業名 | 京都府営等事業 | | | | |
| 細事業名 | 京都府営等事業 | | | | |
| 評価表作成者 | | | | 農林商工部 農林整備課 | 中井 雅宏 |

1. 事業の概要

府営ほ場整備事業、ため池等整備事業、基幹水利ストックマネジメント事業の推進

2. 事業の目的と必要性

- ①施策で目指す目標との関連付け
適切かつ計画的な農業基盤の整備を進め、総合的な農地の保全を進める。
- ②事業を実施する必要性
京都府営事業で本事業により農業基盤の整備を進め、農業の効率化と省力化を図ることにより農業の発展に努める。

3. 事業費の推移

| | 単位 | 平19決算 | 平20決算 | 平21決算 | 平22決算 | 平23予算 | 平24計画 | 平25計画 | |
|-------------------------|----------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 決算額または計画額 | 千円 | 14,492 | 12,842 | 13,800 | 9,854 | 9,212 | 4,200 | 8,750 | |
| うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 財源内訳 | 使用料・手数料等 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 国・府支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 地方債 | 千円 | 14,400 | 11,500 | 13,700 | 6,200 | 8,700 | 3,900 | 8,300 |
| | 一般財源 | 千円 | 92 | 1,342 | 100 | 3,654 | 512 | 300 | 450 |
| 職員等の従事人員 | 人/年 | — | 0.15 | 0.10 | 0.40 | | | | |
| 人件費 | 千円 | — | 1,043 | 752 | 3,067 | | | | |
| 事業費総額 | 千円 | — | 13,885 | 14,551 | 12,921 | | | | |

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

府営経営体育成基盤整備事業負担金

- ・ほ場整備事業 川東地区
6,600,000円（負担金）
- ・ため池等整備事業 西ヶ谷池
2,760,000円（負担金）
- ・基幹水利施設ストックマネジメント事業 蓼島地区
493,750円（負担金）

5. 事業結果の概要

府営ほ場整備事業、ため池等整備事業、基幹水利ストックマネジメント事業の負担金

6. 活動の詳細

| 負担金 | | |
|-----------------------------------|----|---------------|
| 京都府が事業主体となって実施している事業について、負担金を支出した | 随時 | 土地改良事業の推進が図れた |

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

府営土地改良事業を推進し、土地改良施設を整備する事によって安定した農業生産基盤を確立する。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

継続して事業実施を進めることにより農業の効率化と省力化を図ってきたが、今後は、農家の高齢化が進む中、農地の集約化が図れることにより耕作放棄地対策を地域が中心となって農地保全を図って行く必要がある

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
受益地域の関係者と十分協議をすること
- ②当該事業のアピール事項
整備することにより、区画の整形大型化を図る
- ③反省点、今後の展開・方向性等
耕作放棄地が増える中で農家の高齢化が進んでおり農地等の集約化が図れる